

令和8年2月27日



# 学校だより 3月号

横浜市立瀬谷さくら小学校  
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

## 自他のがんばりや成長を実感できていますか…

校長 場家 誠

今年も「1月=行く月、2月=逃げる月、3月=去る月」とは、よく言ったものだなと実感しています。

年が明けてからあつという間に2か月が過ぎ、令和7年度も残すところ、あと1か月となりました。そんな1年の締めくくりに向け、2月に入ってから、学校では「学援隊やさくらの子応援隊に感謝を伝える会」や「クラブ活動発表週間」、「さくらさく交流会(学びを伝える会)」などのいわゆる「まとめ」の活動を行ってきました。

「学援隊やさくらの子応援隊に感謝を伝える会」では、低中学年の子どもたちがメダルや寄書きを渡したり、高学年の子どもたちは息の合った合奏をプレゼントしたりしました。最後には、全員で「ありがとうの花」を歌って、1年間見守り支えてくださったことへの感謝の気持ちをお伝えしました。参加された隊員の方からは、「**子どもたちの真心が伝わってきてうれしかった。**」といったお言葉をいただき、子どもたちと地域の方々との間に「心のつながり」ができてきていることがわかり、校長としてとてもうれしく思いました。

「クラブ活動発表週間」や「さくらさく交流会」については、今年もいろいろな形での発表を行いました。そもそもこれらの取組のねらいは、「これまで学習(活動)してきたことの成果を振り返り、他者に伝えることで、**自他のがんばりや成長を実感**できるようにする。」ことです。そこで、子どもたちは、「どうしたら自分たちのがんばってきたことが効果的に伝わるのか」ということを考えながら、成果物をまとめたりセリフを練習したりしてきました。そして、校内の下級生や上級生だけでなく、保護者や地域の方々をお招きするなど、多くの人に自分たちのがんばる姿を見ていただきました。今回保護者向けの発表は、授業参観日に合わせたため、3日間に分かれたのですが、どの日も多くの方にご来校いただき、ご覧になった方から次のような言葉が寄せられました。

- ・皆さんの演奏、とても迫力があり素敵でした。**がんばって**練習したのだなということが伝わってきました。また竹の発表も調べたことや**がんばった**ことなどを笑顔で発表していて、こちらも楽しい気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・みんなで協力して**がんばって**いましたね。そんな6年生のお友達と一緒に**がんばれる**のもあと少し。更に1日1日を大切にすごしてください。瀬谷さくら小での色々な経験を中学校でも活かしてってください。応援しています。

これらは、6年生の保護者からのお言葉ですが、他学年の保護者からも、同様の言葉を多数いただいています。自分たちのがんばりや成長がしっかり伝わって、子どもたちもきっと喜んでいるはずです。

今年度も、子どもたちは、保護者はもちろんのこと、地域の方々や友だちなど多くの人に支えられながらここまで成長してきました。子どもたちがそうした自身の**成長に自信をもち、希望をふくらませて**、新しい学年に進級できるよう、残り1か月、職員一同改めてがんばってまいります。引き続き、あたたかなご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

